

# 令和2年度美術館評価調書

(その1)

北海道立三岸好太郎美術館

## 【基本的運営方針】 A 優れた作品の収集と保管

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
コレクションの活用状況	コレクションの稼働率	136.0%	134.3%	98.8%	c	所蔵品点数262点(寄託含む)に対し、所蔵品展1～5期で、341点(資料含む)ならびに、館外展示として三岸サテライト4点、移動美術館1点、知事室1点、「ルオーと日本」展への貸し出し5点を含め、計352点を活用し、ほぼ目標を達成することができた。
	所蔵作品を他の美術館企画展で活用					
コレクションの充実度	収集方針に基づき、主体性を持ち積極的に収集活動を行う				b	三岸好太郎と親交があった本間紹夫の旧蔵資料で、好太郎の没後、来札した三岸節子が本間邸に立ち寄った際に描いた色紙1点を、資料として収集した。
保管状況の適切さ	適正な保管環境を保持し、必要な調査に基づき措置を行う 計画的に所蔵作品の修復を行う				a	館内の虫害対策や紫外線量の測定管理など、保管・展示環境の適正な維持に努めるとともに、昨年に引き続き、収蔵庫内の整理を行い、脆弱な登録資料については、中性紙による保存箱に分類整理し、保存環境を整えた。9点の作品の額に、低反射アクリルを取り付けた。

## 【基本的運営方針】 Aの評価

評価	コメント(評価の考え方)
B	アートギャラリー北海道事業である他館のコレクションの紹介や、若手作家の展示と並行しながら、当館のコレクションを有効活用した。資料整理とともに、保存に適した額の整備をすすめ、9点の作品に低反射アクリルを取り付けた。

## 【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

# 令和2年度美術館評価調書

(その2)

北海道立三岸好太郎美術館

## 【基本的運営方針】 B 多彩で特色ある展示活動の充実

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
常設展示の充実度	常設展示観覧者数	14,760人	6,003人	40.7%	c	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、観覧者数は半減したものの、満足度は目標を達成した。またリピート率もほぼ目標を達成し、令和元年度と比較しても、39%から48%と増加した。
	常設展示観覧者の満足度	92.3%	94.5%	102.4%		
	常設展示のリピート率	49.0%	48.0%	98.0%		
特別展示の充実度	特別展示の観覧者数	3,916人	(実施せず)		b	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当館を会場のひとつとして開催を予定していた札幌国際芸術祭が中止となったため、急遽、特別展の枠で所蔵品展を実施した。同時開催としてスポット展示「《赤い服の少女》」が絵本になった！」展を企画した。
	特別展示観覧者の満足度	95.6%	(実施せず)			
	特別展示のリピート率	54.0%	(実施せず)			
入館者の拡充	美術館の魅力を広め入館者増につながる取組の実施	/	/	/	b	新たな取り組みとして、絵本を通じて作品の魅力を紹介する小企画を実施。今年度は、《赤い服の少女》をテーマに新作絵本を制作し、原画とともに展示。好評を博した。
展示の状況	展示のねらいが効果的に表現できているか	/	/	/	c	アンケートのコメント欄の記述から、企画及び展示内容への評価が高く、効果的に展示できたと考えられる。
館外展示の充実度	移動美術館入場者満足度	(設定なし)	(設定なし)	(設定なし)	c	旧三岸好太郎美術館の建物を利用した「北菓楼札幌本館」に、「ミギシ・サテライト」を設置し、来店者に広く作品鑑賞の場を提供し、広報に努めた。
	その他の館外展示の状況	/	/	/		

## 【基本的運営方針】 Bの評価

評価	コメント(評価の考え方)
c	新型コロナウイルス感染拡大の影響により特別展が中止となり、急遽、展示会の組み直しを行った。新たな取り組みとして、子どもから大人まで楽しめるスポット展示「《赤い服の少女》が絵本になった！」を企画開催し、好評を得ることができた。

### 【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

# 令和2年度美術館評価調書

(その3)

北海道立三岸好太郎美術館

## 【基本的運営方針】 C 豊かな人間性を育む学習の場と美術情報の提供

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
教育普及事業の充実度	教育普及プログラムの実施数	35回	12回	34.3%	d	新型コロナウイルスの感染拡大を防止する措置として、予定していた教育普及プログラムの実施をとりやめたため、実績値、達成率とも、大きく減じている。学校教育との連携授業は、三密を避けるなど、感染症対策を講じながら対応した。「教育普及プログラムの満足度」については、感染症対策の一環として聴き取りによるアンケートを中止したため、データ収集ができず、未調査となった。
	教育普及プログラムの参加者数	2,000人	268人	13.4%		
	教育普及プログラムの満足度	97.6%	(聴取せず)			
	教育普及事業の状況					
美術情報提供の充実度	ARS、図書コーナーの利用者件数	4,585人	2,071人	45.2%	d	来館者数が大きく減じたことに従い、図書利用者の実数も減ることとなったが、満足度は維持した。
	ARS、図書コーナーの利用者満足度	73.5%	76%	103.4%		
	多くの来館者が利用できる図書コーナーの環境整備・保持					
	HPアクセス件数	199,673件	194,491件	97.4%		SNSでの発信は、今後も強化していきたい。
	メールマガジン等発行回数	(実施なし)	(実施なし)			
	ソーシャルメディアの投稿数	313回	278回	88.8%		
	情報発信の状況					

## 【基本的運営方針】 Cの評価

評価	コメント(評価の考え方)
d	コロナ災禍での状況に即応した教育普及活動の在り方を検討し、SNSの積極的な活用が緊急の課題である。

## 【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

# 令和2年度美術館評価調書

(その4)

北海道立三岸好太郎美術館

## 【基本的運営方針】 D 活動の基礎となる調査・研究の推進

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
調査・研究の充実度	学芸員による調査報告				b	三岸好太郎と交遊があった本間紹夫の調査研究を展覧会に活かすとともに、R3に開催予定の「三岸好太郎・節子展」の準備として、一宮市三岸節子記念美術館とともに作品調査、文献整備をすすめ、調査結果を共有した。北海道美術に関する学芸員の調査研究も継続し、書籍や新聞などに寄稿した。作品のデジタル撮影を行い二次資料の充実を図った。
	二次資料の状況					

## 【基本的運営方針】 Dの評価

評価	コメント(評価の考え方)
B	三岸と交友があった本間紹夫をはじめとして北海道美術に関わる作家調査を展覧会に活かすとともに、研究の蓄積を活かして、執筆活動や専門的な照会に応じた。

## 【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

# 令和2年度美術館評価調書

(その5)

北海道立三岸好太郎美術館

## 【基本的運営方針】 E 地域文化の振興

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
地域の関係機関との連携状況	ボランティア団体等の主体的な事業の参加者数	2,061人	(実施せず)		c	新型コロナウイルス感染防止の観点から、ボランティアの解説活動は、すべて休止となったが、ボランティア向けの特別オリエンテーションは例年通り実施した。解説ボランティアの部内研修にも学芸員が、講師として参加した。
	ボランティアが活動しやすい場の提供					
	地域と連携した取組の状況					
学校との連携の状況	キャンパスパートナーシップのメンバー校数	2校	2校	100.0%	c	目標を達成することができた。  博物館実習の受け入れや、学校の団体観覧に際しては、解説会場を屋外や道立近代美術館の映像室にするなど、三密を避けながら、三岸好太郎について解説を行った。3月には、北海道教育大学と連携し、北海道教育大学付属釧路中学校とオンライン授業を行った。今後も、積極的に学校との連携を図っていきたい。
	出張アート教室の延べ参加者数	設定なし	(実施せず)			
	指導者研修の延べ参加者数	設定なし	(実施せず)			
	学校教育活動への対応数	13件	12件	92.3%		
	参加者・利用者満足度					

## 【基本的運営方針】 Eの評価

評価	コメント(評価の考え方)
c	新型コロナウイルス感染防止の観点から、ボランティアの解説活動は休止したが、学校の美術館利用は、解説の会場を屋外や近美術館の映像室を使用するなど、感染対策を講じながら、対応した。

## 【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

# 令和2年度美術館評価調書

(その6)

北海道立三岸好太郎美術館

## 【基本的運営方針】 F 良好な滞在環境の提供

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
附帯施設の充実度	レストラン・喫茶利用者の満足度	94.3%	93.3%	98.9%	c	来館者数は減じたものの、満足度は高水準を保つことができた。
	ミュージアムショップ利用者満足度	94.3%	93.3%	98.9%		
	事業者と協力してのサービス向上の実践					
館のホスピタリティ	館内スタッフの対応に関する利用者の満足度	93.4%	93.7%	100.3%	b	来館者数は減じたものの、満足度は高水準を保つことができた。 来館者に対し、感染予防措置の理解を求めることとなったが、苦情、混乱なく、質の高い鑑賞空間の提供ができた。
	ホスピタリティ向上に向けた取組み					
施設環境の保持	施設内外の環境への満足度	91.5%	96.2%	105.1%	b	来館者数は減じたものの、満足度は向上した。 当館のアプローチに設置している表示パネル、結界、玉砂利をリニューアルし、安全性、清潔感と美観の向上に努めた。
	施設安全性保持のための必要な措置					

## 【基本的運営方針】 Fの評価

評価	コメント(評価の考え方)
B	来館者数は減じたものの、付帯施設及び館内スタッフへの満足度は、高水準を保つことができた。当館のアプローチの整備を行い、安全性と美観の向上に努めた。

### 【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E